

TOPIC 3

三菱ロジスネクストが協賛するスポーツ選手が来社

三菱ロジスネクストが協賛するスポーツ選手の皆さまに当社の京都本社、滋賀工場へご来訪いただきました。プロバスケットボールチームの京都ハンナリーズ、滋賀レイクスの皆さまには、2023-2024シーズン終了のご報告を、プロゴルファーの古江彩佳選手はアムンディ・エビアン選手権2024優勝のご報告をいただきました。三菱ロジスネクストはこれからも京都ハンナリーズ、滋賀レイクス、古江彩佳選手を応援します。

プロバスケットボール 京都ハンナリーズ



ラシード選手(左)と鈴木選手(右)

5月16日(木)に京都ハンナリーズの運営幹部の方々、そして鈴木悠介選手、ラシード ファラーズ選手が当社の京都本社をご来訪されました。当社の経営幹部と懇談後、「Logisnext × ハンナリーズ コラボタオル」へのサインや社員との記念撮影に、快く応じてくださいました。運営会社の幹部の方から「多くの社員の方々に観戦いただき、とても感謝している」とのお言葉をいただきました。

プロバスケットボール 滋賀レイクス



田原選手(左)と山崎選手(右)

5月29日(水)に滋賀レイクスの運営会社の方2名、そして山崎凜選手、田原隆徳選手が当社の滋賀工場にご来訪されました。懇談の際、全選手のサイン入り昇格記念ポスターと協賛記念品をいただきました。懇談後は、「Logisnext × レイクス コラボフラッグ」へのサインや当日参加した社員との記念撮影にも応じてくださいました。

プロゴルファー 古江彩佳選手



古江選手

7月19日(金)にプロゴルファーの古江彩佳選手を当社の京都本社へお招きし、アムンディ・エビアン選手権2024優勝の祝勝イベントを開催しました。当社の京都工場内を見学いただき、中盤ではフォークリフトのデモンストレーションも実施しました。工場見学終了後の懇親会では大会のエピソードなど貴重なお話をお伺いすることができました。

TOPIC 4

一般社団法人次世代ロボットエンジニア機構さまとScramble Partner契約を更新!

三菱ロジスネクストはこのたび、一般社団法人次世代ロボットエンジニア支援機構さまと『Scramble Partner』契約を更新いたしました。

次世代ロボットエンジニア支援機構さまは国内産業界の活性化のため、エンジニア選手権における次世代エンジニアの育成や小中学生を対象とする地域ロボット部活動などの事業を進めています。三菱ロジスネクストには2023年よりご支援を賜り、当社の社員もイベントに参加させていただくなど連携関係を強化して参りました。当社は物流現場の省人化ニーズに応える無人フォークリフト(AGF)や無人搬送車(AGV※)などのさまざまな自動化技術を有しています。これらの技術を活かしながら次世代ロボットエンジニア支援機構さまによる新たな技術者育成をサポートし、将来にわたるさまざまな社会課題の解決に貢献してまいります。



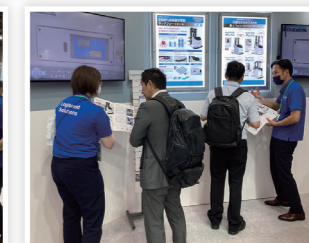
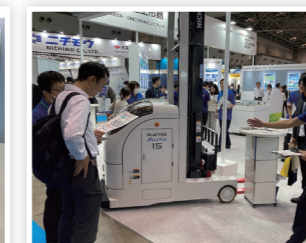
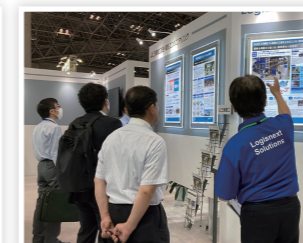
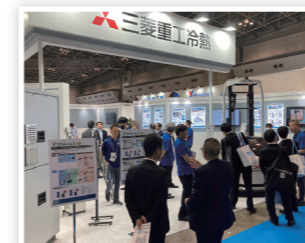
※AGV=Automated Guided Vehicle

TOPIC 1

「FOOMA JAPAN 2024」に三菱重工グループとして出展しました

2024年6月4日(火)～7日(金)の4日間、東京ビッグサイトにて開催された「FOOMA JAPAN 2024」に三菱重工、三菱重工冷熱、三菱重工交通・建設エンジニアリング、三菱重工パワー環境ソリューションと共同で出展しました。

食品製造の現場における三菱重工グループの「省エネ・省人化」として、いまから取り組める最新の製品・技術・サービスをご提案。三菱ロジスネクストは、レーザー誘導方式無人フォークリフト「PLATTER AUTO」の実機を展示し、各種物流機器を組み合わせた物流現場の自動化・省人化をご提案しました。三菱重工グループのブースには4日間で約1,100名のお客さまにご来場いただき、大盛況で終わることができました。



TOPIC 2

トラックへの荷積み自動化技術の実証実験を終え、実運用を開始

三菱ロジスネクストは、物流などを手掛ける鴻池運輸株式会社さまと共同で実施していたレーザー誘導方式無人フォークリフト(AGF※)によるトラックへの荷積み自動化システムの実証実験が完了しました。本システムは、鴻池運輸さまにて2024年3月から実運用を開始しています。

現状、トラックへの荷積み作業は、屋内物流における棚やコンベヤーなどの固定設備に対する荷役とは異なり、トラックの車種や停車位置の違いに応じて積載位置の補正が必要になります。また、トラックの滞留時間削減に伴う搬送時間の制約もあるため、有人フォークリフトの作業が中心となっています。

今回の実証実験を通じて、これらの課題に対応する制御とセンシングに関する新たな技術を開発し、所定の駐車スペースに停められた任意のトラックに、AGF2台で積載を行う自動化システムを構築しました。これにより、変化する積載位置に応じてAGFが自らの判断で最適に稼働し、有人フォークリフト作業と同等の精度と時間でトラックへの荷積みが行えます。なお、今回の積載条件であれば大型トラック1台に対し15分以内で満載が可能です。引き続き、鴻池運輸での実運用から得られる知見をもとに改良と機能追加を行い、能力の向上を図っていく予定です。

三菱ロジスネクストは、今後も長年培った技術力を生かした製品開発に取り組み、「物流2024年問題」に代表される物流業界の課題解決に向けたソリューションを提供していきます。

